

11 ミュージアムに関する事項

本学創立370周年記念事業の一環として進められた「龍谷ミュージアム」は、仏教文化を中心とした文化財や学術資料等を「収集・整理・保存」、「調査・研究」、「展示・公開」し、本学における教育・研究機関としての活用、また広く社会に貢献することを目的として2011年4月5日に開館した。

ミュージアム内に3つの研究プロジェクトを立ち上げ、その研究成果を展覧会や図録の発刊、講演会などを通して学内外に公開し、教育及び社会貢献に寄与できるよう推進した。

ミュージアム開館初年度である2011年度は、開館記念「特別展『釈尊と親鸞』」を1年にわたって開催し、6期にわけて展示替えをおこなった。開催期間中、本学学生、教職員をはじめ学内外から約12万人を超す来館者が訪れた。

また、ミュージアム教員による展示解説講義、展示や図書・図録等の発行等を含め、学内における教育活動や学外への教育普及活動等により、ミュージアムにおける研究の成果を広く発信した。

1 教育活動について

●必修科目「仏教の思想A・B」での活用

「仏教の思想」では、クラス単位で展示資料を教材とした授業を行い、一定期間内に学生が個別にミュージアムを訪れて展示資料に関するレポートを作成する等、講義内容の理解を深めるためにミュージアムを活用した。

●各学部における入門科目等での活用

各学部では、本学の「建学の精神」の理解促進するため、ミュージアムを活用した新入生対象の入門科目や基礎演習等を開講した。

●各学部専攻科目での活用

文学部仏教学科、真宗学科、史学科を中心とした各学部・学科における専攻科目において、その授業内容の理解を深めるため、ミュージアムにて展示している実物資料を用いた授業を実施した。

●学外に対する教育普及活動の推進

他大学の学生や、中学・高校の生徒による学校外学習の受け入れをおこなった。また、学内外の機関と連携し、社会人を対象としたミュージアムの観覧・講座を行う等、学外に対する教育普及活動も積極的に展開した。

2 研究・調査活動について

●研究プロジェクトの活動推進

ミュージアムにおける調査・研究を促進するため、①「釈尊とアジアの仏教」、②「親鸞と日本の仏教」、③「常設展示のための展覧手法の研究」の3つの研究プロジェクト活動を展開した。その研究成果は展覧会や図録等を通して随時公開した。

●所蔵資料や借用資料等の調査・研究活動

特別展「釈尊と親鸞」の開催にあわせ、所蔵資料や借用資料を中心に、調査・研究を継続的におこなった。その成果については、特別展での展示解説や図録等で公開したほか、所蔵者や関係機関へ調査報告書として提出した。

●講演会・学会・シンポジウムの開催

ミュージアムにおける研究成果を広く社会に発信する場として、開館記念講演会「釈尊と親鸞」を、西本願寺御影堂にて開催し、3,000名を超える来場者を集めた。また、学外の研究機関と共同で国際シンポジウムや研究学会を開催した。

●他機関や寺社等からの依頼による調査・研究

他の博物館や研究機関、全国の寺社等から調査・研究等の依頼があり、依頼内容に応じてミュージアム教員を派遣した。その研究成果は、他機関や寺社等を通じて公開されたほか、ミュージアムにおいても展覧会等を通じて公開した。

3 常設展・特別展・企画展について

●開館記念特別展「釈尊と親鸞」の開催

1年を通してミュージアム開館記念および親鸞聖人750回大遠忌法要記念の「特別展『釈尊と親鸞』」を開催した。会期中は、6期にわけて展示替えを行い、国宝・重要文化財を含め約660件の貴重な学術資料や法宝物を展示した。

その結果、12万人を超える来館者を集め研究成果を広く社会に発信した。

●開館記念図書の発刊

「特別展『釈尊と親鸞』」の開催にあたり、ミュージアム教員・リサーチアシスタント及び本学研究者が共同で執筆した図書『釈尊と親鸞』を発刊した。この図書は展覧会の内容と連動するだけでなく、本学必修科目「仏教の思想」の参考図書としても使用された。また、当該図書は全国の一般書店でも発売され、仏教啓蒙書として広く活用された。

●特別展「釈尊と親鸞」出品図録の発刊

特別展「釈尊と親鸞」の各期における展示資料を写真と解説文で紹介する図録を発刊した。釈尊編は全6期を前期(第1期～3期)、後期(第4期～6期)に分け2冊を発刊、親鸞編は各期1冊の全6冊を発刊した。

4 地域での諸活動について

●本願寺門前町活性化推進協議会への参画

西本願寺の呼びかけによって2008年度から始まった「本願寺門前町活性化推進協議会」(門前町を中心とする、地域、行政、商店や旅館、本学にて構成)が主催する各種イベントに参画した。また、親鸞聖人750回大遠忌法要期間中はミュージアムをスタンプラリー会場のひとつとして開放し、地域との交流を図った。

●「植柳まちづくりプロジェクトチーム」への参画

ミュージアムの立地している植柳学区の住民有志が立ち上げた「植柳まちづくりプロジェクトチーム」へ参画し、住民目線の門前町活性化事業に取り組んだ。「門前町まちかどコンサート」の一環としてミュージアムエントランスにて「雅楽の夕べ」を開催し、本学一般同好会「雅楽会」による演奏を行い、近隣住民や外国観光客に披露した。